

第11ブロック 母親委員会便り

平成26年3月発行 第2号

担当：清水袖師小学校

今年度も、いろいろな講演会、研修会に参加させていただき、ありがとうございました。後期の活動を報告させていただきます。

来年度も引き続き、母親委員会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

<活動報告>

興津地区小中合同講演会 参加 11月22日（金） 興津生涯学習交流館

『夢に向かって』 講師：春田 純 先生（ロンドンパラリンピック日本代表）

障害を乗り越えて走ることでうまれた生きる希望と、夢に向かって努力することの大切さをお話してくれました。実際に義足を見せてくれたり、参加した子どもたちに走り方の指導をしてくれたり、とても親しみやすい講演でした。

赤ちゃんと中学生のふれあい交流会参加&給食試食会 11月26日（火） 清水庵原中学校



ふれあい交流会は、中学生が赤ちゃんや子育て中のお母さんと交流する会で、家庭科の授業の一環として行われています。

庵原中学校の給食は、隣の庵原小学校敷地内の給食室で作られています。

[試食会献立]

桜えびのちらしずし しらすと青海苔の厚焼き卵

おひたし みそ汁 牛乳

やわらか黒豆（栄養価補充のため、中学校のみ追加）

～参加者の感想～

[ふれあい交流会]

- ・ 赤ちゃんとふれあっている中学生の顔がやさしく、素敵だなと思いました。このような機会を通して、将来家庭を持つことへのあこがれがうまれると同時に、自分も同じように愛されて育てられたことに気づくのだろうと思います。
- ・ 中学の多感な時期に赤ちゃんとふれあうことは、とてもいい経験になっていると思いました。

[給食試食会]

- ・ 給食は、地元のもものがたくさん使われ、心のこもった感じがしました。味付けも子どもの好みを考えて工夫されていて、近くで子どもを見ているからこそできることだと思います。
- ・ メニューにこだわりがあって、手間がとてかけられているのがわかり、おいしかったです。酢は酸味の少ない米酢を選ぶなど、何気ない工夫がとてよかったです。

高部地区三校合同講演会 参加

12月7日(土) 清水第六中学校

『想定外をいかに減らすか ～東日本大震災の現場から～』

講師：岩佐 勝 先生（宮城県山元町立坂本中学校校長）

勤務中に起きた大震災の経験をふまえて、想定外の被害をいかに減らすかについて、お話してくれました。ありとあらゆる状況を想定した訓練の大切さと、いざという時、自主的に正しい行動をとれる力の育成が重要だということを教えてくれました。

～参加者の感想～

- ・ いざという時に的確な判断ができるかどうかは、日頃からの家族や地域とのコミュニケーション力にかかっていると思いました。命の大切さ、毎日を一生懸命生きていけるありがたさ、感謝の心を忘れないようにしたいと思いました。
- ・ テレビでは報道されなかった映像が衝撃的で、津波の恐ろしさを改めて思い知らされました。避難方法、地震対策など、家族としっかり話し合い、常に確認する機会を作ることが大切だと思いました。